

高山市平和のシンボル除幕式 市長あいさつ

本日は、お忙しいところ「高山市平和のシンボル除幕式」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

日ごろは、市政に対し格別のご理解、ご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年、市では、改めて平和の大切さについて考えていただくことで、一人でも多くの方々に平和への願いと感謝の気持ちが浸透し、その思いが未来に引き継がれることを願い、日本木彫芸術文化財団からご指導を受けながら、国際連合が定めた「国際平和デー」である9月21日を「高山市平和の日」として制定しました。

国際連合が、国際観光年の指定を行うにあたって定めた「観光は平和へのパスポート」という標語は、国際観光がもたらす異文化への共感が世界平和に大きな役割を果たすことを示しておりますが、全世界から多くの観光客が訪れる国際観光都市である本市が、平和な世界の実現を国内外に訴えていくことは非常に重要であると考えております。

今年度、平和に関する新たな取組みの一つとして設置いたしましたのが、この高山市平和のシンボル「平和への絆」です。

このシンボルは「人と人との絆」、「人と自然との絆」、「都市と都市との絆」の3つの絆をコンセプトに製作したものです。全体として、地面からまっすぐに空へ向かって立ち上がっている姿が「平和を希求する意思」を表しています。

また、格子部分の一部を千鳥格子とし、先人から受け継がれ、そして我々が未来へ受け継いでいくべき飛騨の匠の技を取り入れることにより「人と人との絆」を、一位一刀彫や飛騨春慶などの伝統工芸品を育んできた自然の恵みである木を活用することにより「人と自然の絆」を、寺院や他の自治体への一斉鐘打の呼びかけなど鐘の音を通じた都市との連携により「都市と都市の絆」を表現しています。

さらに、この鐘については飛騨地方の祭ではお馴染みの鬮鷄楽、いわゆる「カンカコ」で使用される鐘、鉦鼓（しょうこ）を採用することで、市民の皆様にはその形や音でより愛着を持っていただけるとともに、観光客の皆様には高山というものをアピールすることができると考えております。

このシンボル「平和への絆」を通じて、高山市民の平和への願いを一つにして力強く国内外へ発信していきたいと考えております。

この平和のシンボルの後ろに、草木が生い茂っているのが、ご覧いただけると
思います。これは、高山市が平成23年度から取り組んでいる「いのちの森づく
りプロジェクト」の一つであります。

「いのちの森づくりプロジェクト」は、市民、民間、行政が協力し、土地に本
来自生する木を植えて、地球環境を守り、木を育てることで命の大切さを学ぼう
とする取り組みです。このプロジェクトは、人の手によって自然を取り戻そうと
する活動であり、この取り組みもシンボルと同様、「人と自然との絆」を表して
いるとも言えます。

この後は、児童生徒の皆さんによる平和へのメッセージの朗読がありますが、
我々大人には「平和な日本」というバトンを次の代にしっかりと受け渡すとともに、
「平和な世界の実現」という「夢」を「現実」にしていく責任があります。

また、子どもたちには、視野を広げて世界の国々のことを知るとともに、家族
や友達を大切にする責任があります。

それぞれが、それぞれの役割をしっかりと果たし、一つ一つを積み重ねた結果
がもたらす世界は、有史以来誰も経験したことのない平和な世界でしょう。

みなさん、手を取り合ってはじめましょう。取り合った手は、一人、また一人
と増えていき、そのつながりの輪は、どんどんと大きなものになるでしょう。

みなさん、まずは小さなことからはじめましょう。小さな取り組みは、その一
つ一つが大河の一滴となり、やがて大きなうねりとなるでしょう。

高山市は、市議会をはじめとする市民のみなさんや全国・全世界の自治体など
と手を取り合って、争いのない平和な世界を実現するため、様々な取組みを進め
てまいります。

高山市は、一つ一つの様々な取組みを通じて、世界平和に向けた大きなうね
りを創り出します。

本日までご参集の皆様方におかれましては、ぜひこの取り組みにご賛同、ご協力い
ただきますよう心からお願い申し上げ、簡単ではありますがご挨拶とさせていただきます。

平成26年9月21日
高山市長 國島 芳明